

## 第16回田原市男女共同参画推進懇話会 議事要旨

1 日 時	平成24年5月25日（金）13:34～15:55
2 場 所	田原市役所北庁舎3階 第1委員会室
3 出席者	<p>&lt;委 員&gt;中村都祁子会長、河邊寿夫副会長、松野美香、鈴木政義、菊池邦子、森下静子、大久保哲夫、榎本明美、太田敦子、柴田登、本田則子、川口昌宏、永田みよ江、平野利依</p> <p>（欠席者：岩田大介、吉武正康、鈴木信、加藤昌高、鈴木貴江、渡辺峰男）</p> <p>&lt;オブザーバー&gt;武田圭太</p> <p>&lt;事務局&gt;渡邊市民協働課長、松井副主幹、柴田主事補</p>
4 議事録署名者	大久保哲夫、榎本明美
5 議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 各委員の取組状況</li> <li>2 市の取組状況</li> <li>3 平成24年度の重点推進テーマについて</li> <li>4 第5回男女共同参画フェスティバルについて</li> <li>5 田原市男女共同参画推進プラン中間見直しについて</li> </ol>

### 会議内容要旨

#### ○オブザーバー講話【資料1】（武田オブザーバー）

専業主婦世帯の経済格差に関する調査事例を紹介

- ・大卒女性の4分の3が、結婚・出産を境に退職しており、結婚や出産は女性のキャリアに大きく影響していると言える。
- ・専業主婦世帯の平均年収は、妻がパートアルバイトの共働き世帯のそれより高いが、貧困率では専業主婦世帯の方が高い。貧困層の専業主婦が働かないのは、経済的余裕がなく子どもを保育園等に預けられない、という理由がある。
- ・身近な世帯の暮らしや家計等を見直して、プランの改訂に反映させるとよい。
- ・達成度は数値のみで判断するのではなく、委員がそれぞれの職業や立場から見た社会状況を報告し、共有しながらプラン改訂を行うとよい。

#### （1）各委員の取組状況【資料2】（各委員）

- ・女性の地域参画がなかなかうまく進まない。今後も呼びかけを行っていききたい。
- ・外国人が男女関係なく交流し、暮らしやすい生活が送れるよう、教室やイベント等への参加を呼びかけている。
- ・女性医師の半生を描いた映画を作製し、それに関する意見交換会も開催した。性教育の重要性について話し合った。
- ・田原市は保護司の女性は少ない。意識づけが必要である。
- ・子育て中の女性が中心となって開催するイベントに参加した。子育てしながら社会活動をする女性たちが新鮮に感じた。
- ・議会報告会に出席したが、出席者は地区役員が多いので男性ばかりだった。政治と市民の生活は密接につながっていると思うが、市民の意識が低いのだろうか。

- ・懇話会でブログを立ち上げて、委員それぞれの活動を発信する場を設けるのはどうか。
- ・女性の地区自治会役員への登用はなかなか進んでいない。女性役員の定数制を設けてはどうか。

## (2) 市の取組状況【資料3】(川口委員)

- ・今年度から市民提案型委託制度での男女共同参画啓発事業を実施する。市民活動団体の自由な発想でより広く意識啓発できることを期待する。
- ・平成24年度の市職員の管理監督者への女性登用率は28.7パーセント。数値は着実に上昇しているが、女性の人材育成や男性管理職の意識改革も必要である。
- ・推進プランの中間見直しは、庁内ワーキングと懇話会で改訂の協議を行う。

## (3) 平成24年度の重点推進テーマについて【資料4】

＜意見交換＞

テーマ案：「災害への対応」、「連携協働による男女共同参画の推進、そして、元気でいきいきした人づくりまちづくり」、「男性の育児参加」、「身近な男女共同参画」、「男女を隔てる意識の解消（H23年度テーマ）」、「男女の人権尊重の推進」、「男女ともに健康づくりの推進」

＜決定事項＞ 平成24年度テーマ：「身近な男女共同参画の推進」（多数決により決定）

## (4) 第5回男女共同参画フェスティバルについて【資料5】【資料5-1】

＜決定事項＞

- ・上映作品は第1候補の「60歳のラブレター」とする。監督等の映画関係者の講演会が不可能な場合は上映のみを行う。
- ・開催時間は昨年同様、午前10時から午後4時とし、交流ひろばと映画祭の時間割については運営部会で検討する。
- ・フェスティバル運営部会委員選任  
松野委員、菊池委員、榎本委員、永田委員

## (5) 田原市男女共同参画推進プラン中間見直しについて（事務局）

【資料6】【資料6-1】【資料6-2】【資料6-3】

- ・「田原市男女共同参画推進プラン」策定平成18年度／目標平成28年度
- ・策定から5年が経過し、本年度中間見直しを行う。
- ・懇話会にプラン修正部会を設置し、そこで具体的な意見交換を行うが、懇話会においても意見を伺う。
- ・修正部会は2回程度開催予定。
- ・昨年度行った市民アンケート調査結果や、庁内ワーキングでの意見も改訂作業に反映させる。
- ・パブリックコメントは、見直しの程度によって必要か否かを判断する。
- ・国、県の計画内容との整合も必要である。

#### <意見交換>

- ・現在のプランは、それぞれのテーマに所管課が取り組むように記載されているが、複数課で連携して取り組むことが大切である。
- ・プラン改訂に向けては、現行プランの下での市の将来像を明確に描き、また、市民にも将来像を共有してもらえるようにすべき。そのためにもフェスティバル等において、男女共同参画に関わる身近な人との意見交換会を行うのもよいのではないか。
- ・改訂するプランでは、男女共同参画に関する市民の事例を紹介し、情報発信するとよい。
- ・さまざまな市民活動団体にスポットを当て、その活動を広く市民に発信すると、他団体も刺激を受け、市民活動が活性化する。

#### ◀決定事項▶

- ・プラン修正部会委員選任  
河邊副会長、森下委員、大久保委員、太田委員、本田委員、平野委員

#### (6) その他（事務局）

- 市民提案型委託男女共同参画啓発事業では、①啓発パンフレット作成、②講座開催・イメージマーク作成の2事業を募集する。募集時期は未定だが、決定次第、広報たはらや市ホームページにて周知する。
- 今後の予定
  - ・フェスティバル運営部会（第1回）6月上旬
  - ・プラン修正部会（第1回）9月頃
  - ・第17回懇話会10月頃